

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和元年7月30日

施設名	塩見記念青少年プラザ	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	------------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)たびびと	指定期間	平成30年4月1日～令和4年3月31日
施設所在地	高知市小津町6-4		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成30年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープン記念事業(プラザ内見会、ミニコンサート、クイズ!プラザ発見、広瀬浩二郎講演会、声優教室) ・電気の不思議を楽しもう! ・HELLO WORLD世界の国からこんにちは ・初歩からのオカリナ教室 ・ボランティアのための読み聞かせ教室 ・あしなが募金チャリティーバザー ・ステップアップオカリナ教室 ・秋の朗読発表会 ・わらリースをつくろう! ・身近な動物たち ・クリスマスコンサート ・あしなが募金ミニバザー ・声優教室2 ・卓球オリエンテーション ・将棋大会 ・高知城英語ガイド講座 ・郷土の話ダイヤモンドクロッシング など 		
施設内容	<p>青少年教育施設として、「青少年に対し、主体的な活動の場を提供することにより、青少年の社会性を養うとともにその健全な育成を図る」という設置目的に基づき運営している。</p> <p>構造:鉄筋コンクリート5階 延べ1,597.17㎡</p> <p>施設概要:駐車場、駐輪場(1階)</p> <p>事務室、少年サポートセンター(事務室、相談室、面接室)(2階)</p> <p>教育相談研究所(事務室)、小中PTA連合会(事務室)、会議室、共用相談室、音楽スタジオ(3階)</p> <p>まんが図書館、学習室、トークサロン、やまもも(事務室)</p> <p>PRINK思春期相談センター(事務室、相談室等)(4階)</p> <p>多目的室、倉庫(5階)</p>		
職員体制	職員:館長1名 チーフ1名 会計1名 事務員3名 合計:6名		

2 収支の状況

(単位:円)

		H29年度(決算)	H30年度(決算)	R1年度(予算)
収入	県支出金		18,829,000	20,211,000
	事業費収入		251,005	337,000
	収入計		19,080,005	20,548,000
支出	事業費		1,040,080	964,000
	管理運営費		7,643,140	9,776,000
	人件費		9,188,033	9,200,000
	消費税		601,000	608,000
	支出計		18,472,253	20,548,000
使用料収入			497,024	2,208,000

H28～H29年度は閉館中であり、H30.6.17リニューアルオープン

3 利用実績

利用者数

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
人数	29,303	28,004			22,010	26,439

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<p>貸室予約は25歳未満であれば1ヶ月前から、25歳以上は1週間前から可能であり、かつ、18歳未満の利用料金は18歳以上の利用料金よりも低額もしくは無料に設定しており、青少年が利用しやすい。予約制度の周知と普及に力を入れており、旧館時代に比べると青少年が予約しやすくなっている。</p> <p>延べ74校の学校や関連施設にチラシを郵送したり持参するなど、利用拡大に努めている。特に担当者への直接的な依頼が効果的であった。一方的な送付ではなく、電話での依頼の後、館長あるいはチーフが学校を訪問し、文書を手渡し趣旨を説明している。</p> <p>その他にも、認知度を高めるために、新聞の折り込みチラシを活用した周辺住民への周知やWeb、テレビ・ラジオなど様々な方法で広報を図っている。</p> <p>新規プログラムを開発し、特にオカリナ教室・高知城英語ガイド講座は募集人数をはるかに超える参加があった。また、声優教室など特徴的な企画が魅力的であり、可能性を感じる。</p> <p>オーテピアの休館日である月曜日も開館していることは、利用者にとってありがたい。他の施設とも連携して、それぞれの施設の特徴やそこでできることを確認できる地図等があると、もっと利用しやすいと考える。他の施設との利用者取り合いではなく、全体的な利用者数・層の底上げ・拡大を狙う広報が大事である。</p>
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>受付は“館の顔”と心がけ、どの業務よりも優先であると徹底し、丁寧で親しみやすい接客を心がけ、各種の職員研修も行っている。快適安全に利用してもらうことに重点を置いた研修を行い、職員の資質向上に努力している。</p> <p>図書室にベストセラー本をおき、また、郷土作家図書コーナーなどをつくり、年代を問わず気軽に立ち寄れる居場所を提供することに努めている。</p> <p>通常は閉館している水曜日を8月は開館したところ、264名（青少年は203名）の利用があった。また、日曜、祝日、長期の休みにランチルームを設けたことで、430名の利用があった。</p> <p>グループ学習室の騒音問題等に対しては、具体的解決策を考える必要がある。</p>
③施設の運営について	<p>複数の入居団体すべてに鍵台帳の作成を依頼し、鍵の所在を明確にしている。また、各部屋の施錠・危険物の有無・防火点検を1時間ごとに行い、安全管理に努めている。</p> <p>職員・パートの連携が疎かにならないように、文書による連絡事項の確認を厳守し、職務前の日報にも必ず目を通すようにしている。</p> <p>あしながバザーでは、近隣の利用者が出品や売り子などを手伝ってくれるなど、地域との連携もみられた。</p>

④利用実績	<p>平成30年6月17日のリニューアルオープンから年度末までの利用者数は22,010人であった。</p> <p>平成30年4月1日から6月16日までの利用人数を推測して年間利用者数を計算すると約27,000人となり、閉館前の平成27年度並みではないと思われる。</p> <p>当該年度は施設の改修工事によって、基準期間がこれまでと異なるため比較できないが、新しい施設になってさらなる利用者層の開拓をしてほしい。</p>
⑤収支の状況	<p>年度途中からの開館であり、予算に対して妥当な決算がなされている。管理運営費は予算に対して1,773,860円少なく、人件費は予算に対して1,022,033円多かった。</p> <p>リニューアルオープン年度のため、想定外のこともあったと思われる。グループ学習室の防音、ホワイトボードの不足など、今後の課題もあげられた。</p>
総合評価	<p>青少年健全育成施設の役割・責任を維持しつつ、地域の方々を中心に幼児から高齢者までの幅広い年齢層に利用してもらえる生涯学習施設というスタンスで、すべての人が学び安らぐ居場所を提供している。</p> <p>新たな環境での施設管理ということで、多くの苦慮や戸惑いがあったことと推察される。その環境の中で新たな塩見記念青少年プラザを構築し、今後の新しい歴史をつくりあげてほしい。その中でも、声優教室、あしながバザーなど、特色のある事業の発展を期待する。</p> <p>A また、受付は“館の顔”と心がけている点が評価できる。子どもたちを見守り、変化に気づき、悩みを聞いてあげるような受付対応を期待する。なお、パート職員の方への待遇改善(時給アップ)に考慮を求む。</p> <p>今後は、施設を利用する青少年が利用を通じてどのように変化・成長していくのか、塩見記念青少年プラザの理念や意義がどのように青少年に影響を与えていくのかを、調査・観察していきたい。</p>

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。